

「学経営目標」と「令和5年度重点目標」に向けて

学校教育目標 「誰もが明日も登校したくなる学校」の創造。～地域を愛し、地域の強みを生かして～
(重点) ○「主体的に学習に取り組む態度」が育成できるような授業づくりと評価
○友達や地域の良さを認め合い、意欲的に協働して課題や活動に取り組める場面の保障。

豊かな人間性

- 規範意識の向上
 - ・「学校スタンダード」の実効性を高める。
- 自他を大切にできる心情や態度の育成
- ◎全教育活動で培う道徳的な資質・能力

健康・体力

- 体力向上への意識向上
 - ・教科体育の充実、意図的な運動機会の保障。
- 自身の健康に関心をもち、実践する態度の育成。
 - ・保護者と連携した健康管理。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・課題や問題に対する自分の考えをもつ。
- ・自分の考えを友達と交流し広げ深める。
- ・身に付けた力を他教科や生活で生かす。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①感性を働かせながら思いや考えを効果的な方法や言葉で表現している。
- ②情報を結合したり条件付けたりしながら自分の考えを修正し、深めている。
- ③自らの学習に見通しを持って取り組み、粘り強く調整しながら学びを深めている。

子供の実態

教師の課題に対して一生懸命に取り組もうとする。
(課題) 説明する力、交流する力など

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- 〈個々の思いや考えを価値付ける〉
- ・多くの教員目線で子供を見取り、情報交換しながら個別の支援をする。
- ・ICTを含む学習用具の工夫をする。

目指す子供の姿

自ら学び 共にかかわり
高め合う子
他者とのかかわりによって
自己の成長を自覚できる子

何を学ぶか (教育課程の編成)

- ・教科が示す「見方・考え方」を働かせて考える
- ・考えたことを友達と伝え合い、広げ、深める。
- ・学んだことを記録したり説明したりする。

どのように学ぶか (教育課程の実施)

- 「聴いて→考えて→つなげる」学習を日常的に実施し、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図る。
- 日常的に言葉のスキルを高める。
- 自らの学びを見通し、振り返る力が身に付く学習活動を行う。

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 「チーム末長」としてのカリキュラム・マネジメント
- 外部講師を入れた研究、研修
- ◎富士通ゼネラルをはじめとする地域人材の活用
- 交換授業
- ICT機器の活用

安心・安全を守る

「学校安全マニュアル」「学校スタンダード」の実効性を高め、心身ともに安心な学校を目指す。

開かれた学校作り

- ◎学校HPの活用
- コミュニティスクール設置に向け、地域や保護者との協議。